

令和5年度 事後評価シート

【事務事業シート（政策的経費）】

1

当初

事 項

病院事業会計負担金

予算主管課

公営企業管理局

事 業 概 要

病院事業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費や能率的な運営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる経費について、地方公営企業法及び総務省の繰出し基準に基づいて、一般会計から負担金を繰り入れる。

始期

S40

終期

K P I

経常収支比率

KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
時点・期間	R4年度	時点・期間	R 5年度	時点・期間	R 6年度	時点・期間	R 7年度	時点・期間	R 8年度
現状値	104.9 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %
		実績値	93.4 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%
		達成率	93.40 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
コ ス ト		最終現計予算額	5,082,901 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
		決算額	5,043,498 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5 年 度

要因分析

評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）

県立病院の使命として、通常診療への制約も受けながらコロナ対応に重点を置いた病院運営を行ってきた影響で、令和2年度以降大幅に減少した患者数がコロナ前の8割程度にとどまっている中、物価高騰や人件費の上昇で医業費用が大幅に増加し、加えて新型コロナの5類移行に伴い国の財政支援が大幅に減少したことで経常収支が大幅な赤字となった。

総括（事業最終年度の場合、要記入。）

見直し方向性

見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））

2

当初

事 項

病院事業会計貸付金

予算主管課

公営企業管理局

事 業 概 要

病院事業の運転資金不足を解消し、経営を安定させるため、一般会計から貸付けを受ける。

始期

S36

終期

K P I

当初計画にない追加の借入を行った件数

KPI種別	下がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
現状値	0 件	目標値	0 件	目標値	0 件	目標値	0 件	目標値	0 件
		実績値	0 件	実績値	件	実績値	件	実績値	件
		達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
コ ス ト		最終現計予算額	3,000,000 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
		決算額	3,000,000 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円

5 年 度

要因分析

評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）

総括（事業最終年度の場合、要記入。）

見直し方向性

改善

見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））
病院事業を取り巻く経営環境の悪化から、県立病院のキャッシュは枯渇しつつあり、健全経営を図る上で、本事業の必要性は一層高まっている。現在、収支改善に向け全力で取り組んでいるところであるが、今後、事業年度内の最大残高不足額が増加する場合には、R7年度予算における貸付額の増加を検討する必要がある（R6年度中に資金ショートが発生する見込みとなった場合は、公営企業内の事業会計間で資金融通し対応する予定）。